

中学校

- 主題名 法やきまりを守り社会で共に生きる（C 遵法精神、公德心）
- 教材名 「二通の手紙」（『私たちの道徳』中学校）
- ねらい 法やきまりの大切さを多面的・多角的に理解し、秩序と規律のある社会を実現しようとする態度を育てる。
- 学習指導過程

	学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	具体的な指導・援助
導入 5分	1. 身の回りの規則について意識づける。 ○身の回りのルールってどんなものがあるだろうか。 ・髪型や服装などの校則 ・交通ルール ・法律 ○守らなければどうなるだろう。 ・怒られる。 ・罰せられる。	・生徒からの意見を引き出し、発言しやすい雰囲気をつくる。 ◇ねらいとする価値への方向付けを図ります。
展開 40分	2. 教材を読む。 ◇生徒が教材の内容を理解できるよう、教師による範読をします。間の取り方、強弱、速度など工夫して読みます。 3. 登場人物の確認をする。 ・元さん：長年動物園で働いている。奥さんを亡くし、仕事が生きがいである。 ・姉：毎日、弟と動物園に来る。 ・弟：いつも外から動物園をのぞいている。 4. 元さんが姉弟を入園させた理由を考える。 ○元さんはどうして規則を破ってまで姉弟を入園させたのでしょうか。 ・今日は誕生日だし、特別に入れてあげよう。 ・事情がありそうだから入れてあげよう。 ・別にばれないし、問題ないだろう。	教師が範読する。 ◇後の時間を確保するため、ここでは時間をかけず、教師が簡単に人物の背景を説明し、把握させます。 ・本当はいけないことであるにも関わらず、入園させたときの元さんの感じ方や考え方について多様な意見を引き出し、自分はどの思いが強いかが問われる。

	<p>5. 姉弟からの感謝の手紙と懲戒処分という、二通の手紙を見比べたときの元さんの気持ちを考える。</p> <p>○二通の手紙を机の上に並べて見比べたとき、元さんはどのような気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝されてうれしかったけど、無責任な判断だったな。 ・自分の勝手な気持ちで多くの人に迷惑をかけたしまった。 ・二人の姉弟が何事もなくて本当によかった。 ・入園係としての義務を考えると、規則の意味を考えて判断すべきだった。 ・仕事はやめなくてはならないが、姉弟を入園させてやれて良いことができた。 ・姉弟に優しいことをしたつもりが、優しくなかったな。 <p>◇自分がよいと思っていたことが、周りに迷惑をかけてしまうことに気付かせます。</p> <p>◇生徒の意見を、似た意見や異なる意見ごとに、黒板に整理します。</p> <p>◇発表の際には、他の人の意見で参考になった意見について、メモ等をさせると、多面的・多角的に考えることが容易になります。</p> <p>6. 身の回りの規則やルールについて、今までの自分を見つめ直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや想いを、理由や根拠をもとに「道徳ノート」に記述させる。 <p>◇二通の手紙の内容を理解させてから発問しましょう。</p> <p>◇「姉弟を思いやる気持ちで入園させてやれて良かった」という感想に対して、以下のような発問をすることで、規則の大切さに気づいた元さんの気持ちに注目させます。</p> <p>☆発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とはなんだろう。 ・やめなくてもいいのに、自らやめていったのはどうしてだろう。 <p>◇ねらいとする内容項目は「遵法精神・公德心」ですから、思いやりと規則の大切さとの二項対立のみとならないようにします。</p> <p>◇深めることができそうな意見には、切り返しの発問を行いましょう。</p> <p>◇例えば、導入で出された規則やルールについて、今までどのように考えていたか問いかけ、生徒の生活を振り返らせませす。</p>
<p>終末5分</p>	<p>7. 学習を振り返り、道徳的価値を深める。</p> <p>◇終末では、本時でねらいとする道徳的価値について、他の人のどのような意見が参考になったか、その結果どのような考えをもったか等について、「道徳ノート」に書かせるなどし、生徒一人一人が、自らの道徳的な成長や明日への課題などを実感することができる工夫を行います。</p> <p>◇生徒への叱責、訓戒や行為、考えの押し付けにならないよう注意する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」に学んだこと、考えたことをまとめる。

<板書計画>

◇ネームプレートは、一人につき2枚以上あると、発問に応じて、誰がどのように考えたか、よくわかります。

第〇〇回 道徳

二通の手紙

身の回りの規則

- ・髪型や服装などの校則。
- ・交通ルール。法律。

守らなければどうなる？

- ・怒られる。罰せられる。

元さんの絵

規則を破ってまで、入園させた元さんはどのような気持ちだった？

ネームプレート

- ・今日は誕生日だし、特別に入れてあげよう
- ・事情がありそうだから入れてあげよう
- ・別にばれないし、問題ないだろう。

二通の手紙を机の上に並べて見比べたとき、元さんはどのような気持ちだっただろうか。

ネームプレート

- ・感謝されてうれしかったけど、**無責任な判断だったな**
- ・姉弟が何事もなくてよかった
- ・姉弟に優しいことをしたつもりが、**優しくなかったな**

◇導入時の生徒の発言は、時間確保のため、黒板に書きすぎないようにします。

◇生徒からの発言は全て書くのではなく、適切に切り返し発問等をしながら、ねらいに迫る発言を記述していきます。

◇意見を言うのが苦手な生徒には、「どれが自分の気持ちに近いかな」などと板書を活用して問いかけると、自分との関わりをもたせることができます。